

令和7年度 建築設備技術者協会におけるBIMの取り組み

2026.03.24



技術委員会 BIM-WG

建築設備技術者協会におけるBIMの取り組み

JABMEE VISION 2030

建築設備技術者協会の中長期ビジョン

— 2030年へ向けた挑戦 —

一般社団法人 建築設備技術者協会

2022.8 改訂

JABMEE

「JABMEE VISION 2030」における

JABMEEが取り組む建築設備の課題

技術委員会傘下に
課題に対する8つの技術WGを設置

- 1) ZEB WG
- 2) BCP WG
- 3) 健康 WG
- 4) スマートコミュニティ WG
- 5) ICT WG
- 6) BIM WG**
- 7) 建築ストック WG
- 8) シミュレーション WG

建築設備技術者協会

本協会は、**建築設備技術者の相互協力**により、建築設備技術者の資質及び社会的地位の向上を図るとともに**建築設備技術の進歩改善に関する調査研究及び普及**を行うことにより、建築設備の健全化及び建築物の良質化に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

■ JABMEE BIM-WGの概要

- **設計事務所、ゼネコン、サブコン、ビルメンテ、メーカー、学識**
- **全15名**
- **2025年度3回開催**

JABMEE BIM WGの目的・活動内容

■ 目的

- ✓ JABMEEは、設備分野の設計、施工、製造、運用の関係者が参加する協会であり、様々な立場が専門領域での情報共有、技術深度化を図る場となる。
- ✓ BIMは、建築ライフサイクルを通し、データを一元管理し、発注者・設計者・監理者・施工者・建物維持管理等が情報を共有できる手法であり、建築設備分野でのBIMの普及、活用推進を目指す。
- ✓ BIMに係る建築設備界の知見を取りまとめるとともに会員からのデータ収集に努め、行政に伝えていくことに積極的に取り組む。

■ 活動内容

- ① 建築BIM推進会議に関わる関連活動との連携
- ② 建築設備BIMモデルに関する設計・施工・メーカー・維持管理の意見交換
- ③ 設備に関わる維持管理BIMの推進
- ④ 設備系協会・学会とBIM活用事例に関する情報連携

R07活動：設備分野におけるプロセス横断に関する取り組み

■プロセス横断的な活用が進んでいないBIM



あらためて
互いを知る！

- ・取り組み
- ・ユースケース
- ・フィードバック
- ・設備のLODとLOI など

出典：建築分野におけるBIMの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン(第2版) P.10 図1-3

■ 設計BIM

「営繕BIMモデル」への意見照会

● 概要

- ・求めるのは、情報モデル > 3Dモデル。
- ・末端まで全てを3Dで書ききらないのが合理的

■ 施工BIM

「設備BIM研究連絡会」との連携

● 概要

- ・施工における機器ファミリーは、設計より細かな情報が必要。
- ・ファミリーは、機器だけでなく部材も重要
- ・BIM図面審査の影響は少ない。

■ 維持管理BIM

「維持管理・運用BIM-WG」との連携

● 概要

- ・LODよりもLOIが重要。アセット情報に関するAIRが必要。
- ・日常と緊急でデータへの要求も異なる。

今後の予定

1. 建築BIM推進会議への参加 / 委員の派遣(積算部会・標準化タスクフォース)
2. 設備系協会・学会とBIM活用事例に関する情報連携、発信、共有
3. 設備分野に関わる設計・施工・製造・運用の**各プロセスを横断する関係者間での情報・ビジョンの共有**